

まちの課題解決!

パートナーシップ活動助成部門

(地域活動)



自分の老後を自分でデザインする “これから塾”



コレクティブハウス設立準備事業

※事業名は企画提案時のものです



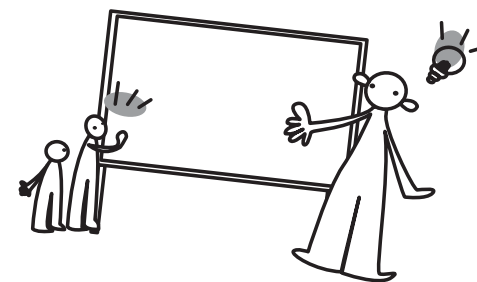
みんなの公園、それはふれあい、いいこの場、公園を地域のものに、そして福祉のまち あたかをつくる。地域の団体との連携・活性化を目指して-



地域における認知症予防



認知症にやさしい地域づくり (支え合い 広めよう)



NPO法人成年後見推進ネットこれから

企画概要

自分や親の老後の生活に関心と不安を持つ区民を対象に、老後に関するテーマを設け、専門家を講師に「これからノート」を活用した勉強会と交流会を開催する。

選考理由

区民が自分の問題として、成年後見制度をとらえられるようにする活動は有意義であり、期待できます。「これからノート」も面白いです。さらに面白くデザインできると良いですね。

福祉のまちづくりとの関連性をどう作り出していくかは、今後の大きな課題。単なる講演会にしないためにはどうすればよいかの工夫をしていただきたいです。高齢者だけでなく、若者等にも対象を広げて欲しいですね。

大泉学園にコレクティブハウスを作る会

企画概要

大泉学園にてコレクティブハウス居住を希望する住民が、幅広い地域住民を対象に学習会や見学会を開催し、コレクティブハウジングに関する啓発を行う。それによってより幅広い地域住民の設立準備への参加を期待する。

選考理由

コレクティブハウスという発想は大切です。他の地域での成果や反省点を明確にし、今後の検討のプロセスやノウハウを練馬のまちづくりに活かしていくことに期待しています。新しい取り組みであるため、わかりにくい点もありそうです。例えば、コレクティブハウスというネーミングなど。建築にあたって居住者の意向がどのように反映されるのかなど、わかりやすく説明できるよう整理していくことも必要だと思えます。

西・南大泉いきいきコミュニティ

企画概要

西大泉・南大泉地域にはおいて、公園をふれあいの場として、地域生活に密着したものにしていけるために、地域の団体や民生委員等と協働して、学習会や公園チェック等の巡回懇談会を開催する。

選考理由

地域を拠点に、さまざまな課題に向き合う活動は意義深く、今回公園を拠点としたまちづくりに着目された点は素晴らしいです。提案者が、公園の再生をめざす気持ちや、さまざまな活動を展開したいという意欲は十分に伝わりました。公園ラリーという企画も面白いですね。ただ、今回提案された企画では、活動が多岐にわたっていたため、具体的に公園を拠点に何をしたいかが伝わりにくかったです。活動を絞り込むと、よりわかりやすかったと思います。

居場所づくりグループ

企画概要

今年、認知症予防のためフリフリグッパ体操をこれまでの公園での活動に加えて、施設にて行う(現段階での受入確定施設は三カ所)。参加者との交流を通し、認知症予防の普及と楽しい触れ合いのときを持ちたい。

選考理由

フリフリグッパ体操が地域で広がっていること、グループに明確な目標があり、生活活動範囲で地道な活動を続けられていることを評価。今後の展開として、施設を巻き込んでいこうという方向性も良いのではないのでしょうか。今後の展開として、ノウハウを会員間で伝承していく手法や、他の認知症予防推進員との連携(例えば、料理教室と一緒に広域化など)も、ぜひご検討いただきたいですね。

はじめの一步からステップアップ!

「白い箱の会」

企画概要

地域住民の認知症への理解を広めるため、これまでの活動(情報紙発行、講演会開催、施設見学、施設での活動など)に加えて、独居高齢者宅への傾聴訪問、小地域での学習会や懇談会開催、脳に良い料理教室開催等の新規事業を行う。

選考理由

新規事業の説明もわかりやすく、昨年度の活動からのステップアップが明確な点を評価。新規事業の独居高齢者への傾聴訪問、学習会、料理講座は、地域に活動を広げ、理解者・協力者を増やすための良い工夫ですね。これらの事業の成果が他の地域でも活用できるような活動を、心がけていただきたいです。成果次第で、「はじめの一步」からの発展として理想的な事例になると考えられます。



今年は、一年間の記録映像も制作しています!



審査委員のみなさん



委員長

中野 泰志
慶應義塾大学教授



副委員長

櫻庭 伸
首都大学東京 准教授



増島 光博
東京商工会議所練馬支部
不動産分科会分科会長



室地 隆彦
練馬区健康福祉事業本部
福祉部長



林田 道子
IamOKの会、練馬軽度発達障害
の子どもを支援する会 代表



仲倉 重郎
日本大学
非常勤講師



古山 美枝子
まちづくりフォーラム
株式会社代表取締役



平野 和範
練馬区環境まちづくり事業本部
都市整備部長

審査結果

部門	プロジェクト名	提案グループ※事業名は企画提案時のものです	助成決定額
はじめの一步	地域福祉活動参加支援ポータルサイト=気楽にお試し=	チームかけだし石神井	5万円
	顔の見える関係づくり~歩いていける所に茶話会を~	滞の会	3万円
	ユニバーサル社会を目指す、豊セン	ユニバーサル・コミュニティ豊セン	5万円
パートナーシップ活動助成部門	栄町・桜台子育て支援マップ	栄町・桜台民生児童協議会まちマップ委員会	20万円
	思いやりのある楽しいやさしいまちづくり 7-9まちのプチカレッジ開講	練馬地域福祉ハートフルアクターズ	9万円
	市民相談員養成講座	練馬市民相談ネット	20万円
	自分の老後を自分でデザインする “これから塾”	NPO法人成年後見推進ネットこれから	18万円
	コレクティブハウス設立準備事業	大泉学園にコレクティブハウスを作る会	20万円
	みんなの公園、それはふれあい、いいこの場、公園を地域のものに、そして福祉のまち あたかをつくる。~地域の活動団体との連携、活性化を目指して	西・南大泉いきいきコミュニティ	7万円
	地域における認知症予防	居場所づくりグループ	20万円
	認知症にやさしい地域づくり(支えあい 広めよう)	「白い箱の会」	20万円
	出会って学んで実行に移す「石神井界隈のまちづくり」	「ウエルカム石神井公園」教養・講座グループ	9万円
	「緑で元気になろう!」プロジェクト	練馬ふくしの輪	★5万円
地域と障害者をつなぐステップ・ガーデン	ステップ・ガーデン	★5万円	
テーマ(普及啓発・学び活動)	練馬にやさしい気持ちの花を咲かせましょう	認知症予防推進員の会 ミニ講座・劇グループ	25万円

今回は準備金のみ、今後の詳細な実施計画を提出し、2次選考を行い、残りの助成の可否を決定します